

# 実技試験 準備品リスト

## 85 【基礎級 鋼橋塗装作業】

「実技試験問題に『支給材料』『使用工具等』と書かれているもののうち、持参が必須のもののご案内です」

千葉県での受検では下記のことを人数分必ず持参して下さい。

(1名分)

改定日: 2024.5.9

○材料

確認: 2024.5

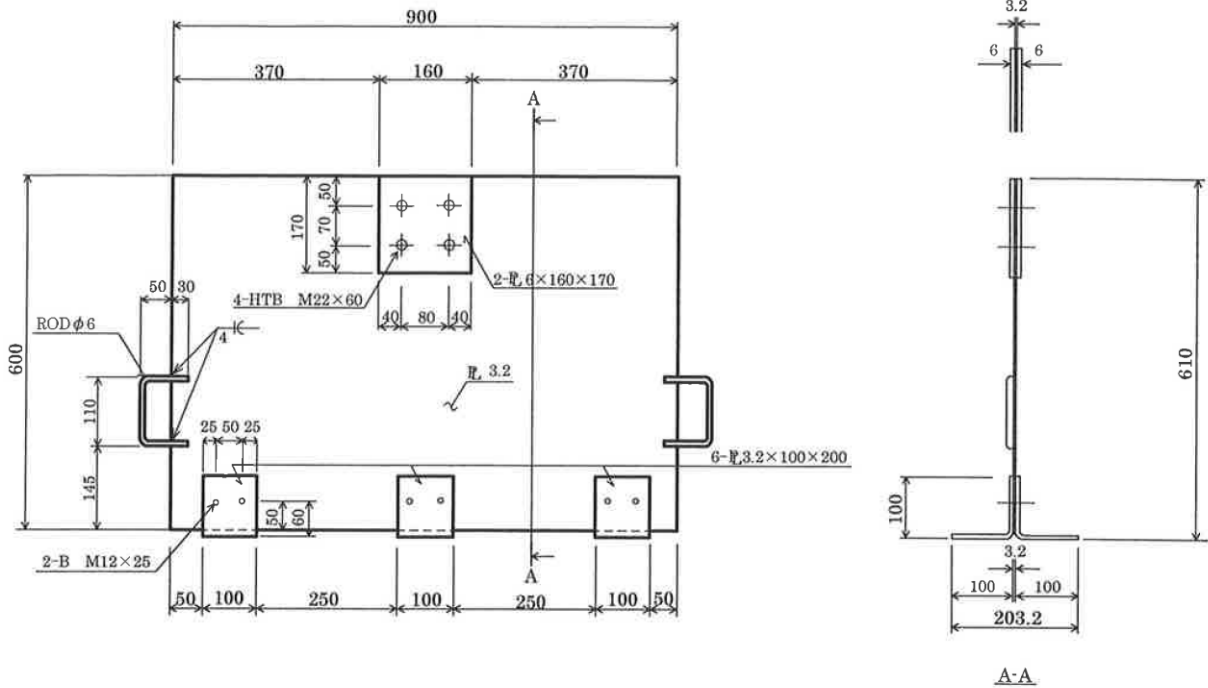
チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	試験板	鋼板 3.2mm×600mm×900mm 別添図参照	1枚	作業1、2用
	安定用枕木	約300mm×100mm×60mm	2本	
	研磨布	#80	2枚	作業1用
	ディスクサンダ用サンドペーパー	#50 φ100mm	2枚	
	塗料	・JIS K 5516合成樹脂調合ペイント2種中塗り用 ・色調は、最新版の「日本塗料工業会塗料用標準色見本帳」による色票番号19-85F (マンセル値10YR8.5/3)に近い色	300g	作業2用
	塗料用シンナー		250cc	作業2用 塗料のうすめ用
	マスキングテープ	幅12mm	1巻	作業2用

○工具等

チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	作業台	約1m×1m 高さ約0.7m	1台	作業1、2用でがたつきのない堅固なもの
	塗料用シンナー配布用容器		1個	作業2用
	ドラム式コードリール		適宜	
	スクレーパ(力棒)	刃幅20mm	1本	作業1用
	紙かき		1本	
	ディスクサンダ	100V用、回転板φ100mm (安全カバー付き)	1台	延長(中間)コードを含む
	ディスクサンダ付属工具		一式	※ディスクサンダの本体コードを延伸する等改造品と認められるものは使用不可
	ワイヤブラシ		1本	
	ダスタばけ		1本	
	下げ缶	重さ100g程度のプラスチック製のもの	1個	作業2用 金属製のものには、ポリ製の内容器を使用することでもよい
	寸胴ばけ	毛幅 約50mm	1本	作業2用 平ばけでもよい
	筋違いばけ	毛幅 約30mm	1本	作業2用
	かくはん棒		1本	作業2用 割り箸でも可
	ウエス		若干	作業1、2用
	作業服等		一式	上衣は長袖とする。手袋を含む。 ディスクサンダ使用時は、皮手袋を使用すること。巻き込まれるおそれのある軍手及びゴム手袋の使用は不可とする。
	作業靴		一足	安全靴又は安全地下たび
	保護めがね		1個	作業1用 飛散した塗料、溶剤、粉じん等が目に触れないもの
	防じんマスク		1個	作業1用 国家検定に合格したもの
	保護帽		1個	作業1、2用
	墜落制止用器具	フルハーネス型又は 胴ベルト型(1本つり)	1本	
	飲料		適宜	熱中症対策、水分補給用
	廃棄物用容器	(例)石油缶の上部を切り抜いたもの	1缶以上	残塗料以外用
		(例)石油缶の上部を切り抜かないもの	1缶以上	残塗料用
	消火用機器		適宜	
	洗い用シンナー		適宜	塗料用シンナーでも可
	救急用具		一式	
	受検票		1	コピーしたものは不可
	実技問題	当協会から交付した原本 ※試験結果が出るまでは処分しないこと	1	コピーしたものは不可

※既定の寸法どおりのものをお持ちください。また必要に応じて予備も持参してください。

# 【基礎級】鋼橋塗装 別添図



試験板製作図 単位：mm

- (1) 寸法は、3.2(厚さ)×600(縦)×900(横) mm とし、板取りによる若干の誤差は差し支えないものとする。
- (2) 添接板は、ボルト締めとすること。
- (3) 素地表面は、ブラスト処理とする。

なお、表面粗さは、70 μm Rz15以下となるように仕上げること。

- (4) 塗膜除去用になる塗膜は、次により形成すること。
  - (イ) 塗料・・・・・・ 合成樹脂調合ペイント JIS K 5516 2種 中塗り用
  - (ロ) 塗付量・・・・・・ 1回 110g/m<sup>2</sup>程度
  - (ハ) 塗装は、エアスプレー塗り2回とし、各回とも赤外線ランプ又は熱風乾燥炉焼付け仕上げとするが、その工程は、次のとおりとする。

	セッティング	赤外線ランプ又は熱風乾燥炉焼付け	焼付け時間
1回目	30分	105～120℃ (試験板温度にて)	1時間
2回目	60分	105～120℃ (試験板温度にて)	2時間

- (ニ) できあがりの塗膜は、厚さ約 50 μm、硬さ 2H(平板部以外は若干の誤差を認める。)となるように仕上げること。